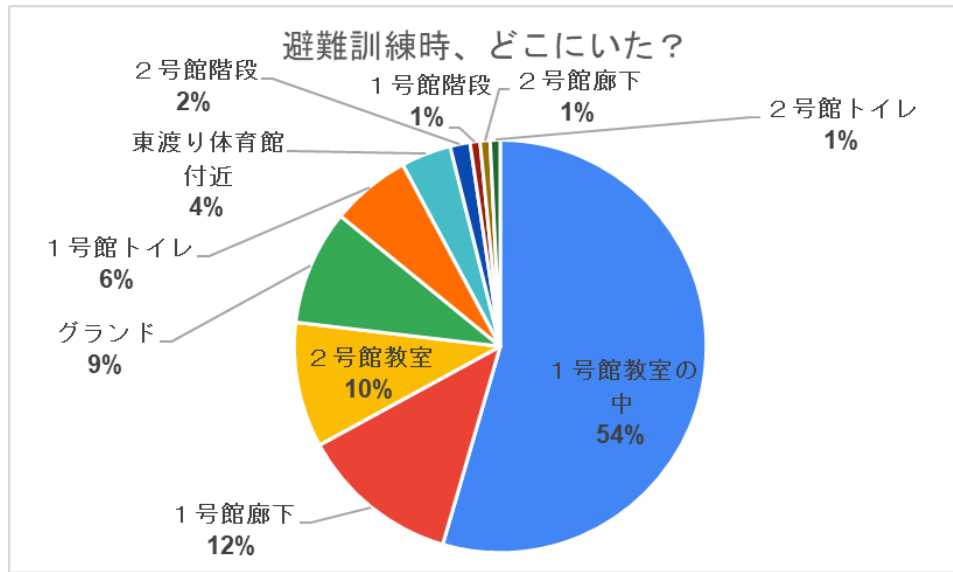


第2回避難訓練の振り返り調査の結果報告

大地震発生を想定した先日の第2回避難訓練の振り返り調査へのご協力、ありがとうございました。全校で251名の人が回答に協力してくれました。第2回目の避難訓練の調査結果からこれまでに気付かなかった問題点も見えてきました。

1・その時、あなたはどこにいましたか？



ISS プロジェクトチーム2年代表による振り返り調査結果の分析

今回の避難訓練では、第一回の避難訓練と比べ、真面目に行っている人が多く実際に生徒自身も良い評価が前回の87%と比べ99%となっていた。

最低評価も前回2%から1%となっており、全体的に意識をする人が多くなったと分かる。しかも、発生時にすぐに自分自身を守れた人が多くいた。

しかし、**教室以外にいた人が戻ってきてしまったり**、うろろしているだけで何もできなかった人がいたりした。

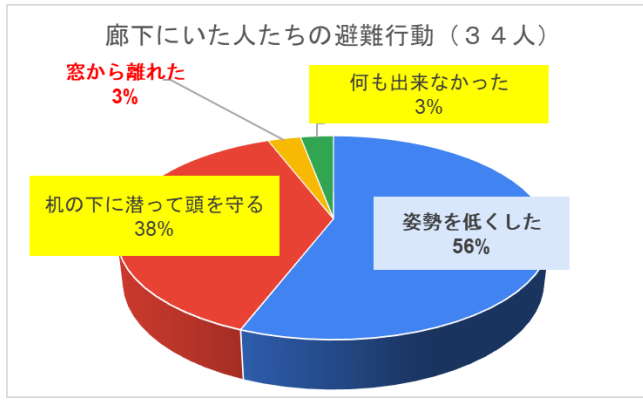
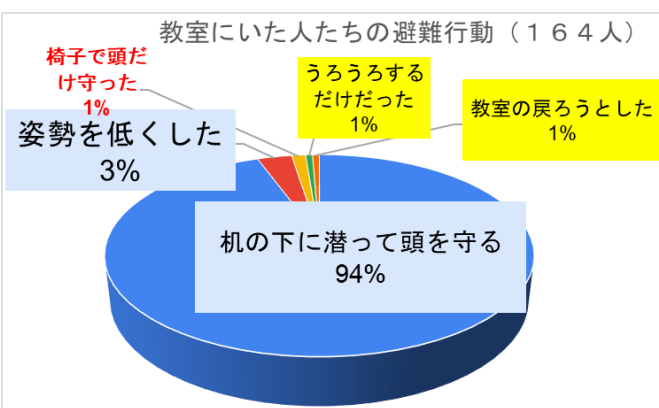
そもそも、放送が聞こえなかった人がいたということが課題点となった。

※「おかしもち」の行動を忘れてしまっている人の存在が見えてきました。

第1次避難行動に関する課題

廊下などにいた人たちの行動として廊下に机はほぼないのに机の下に潜って頭を守るが38%だったのはおかしかった。また、避難するときに先生の話を聞いて落ち着いて避難できることが出来ていたからよかったと思った。

2・その時あなたはどんな行動をしましたか？



話を聞いて落ち着いて避難できることが出来ていたからよかったと思った。

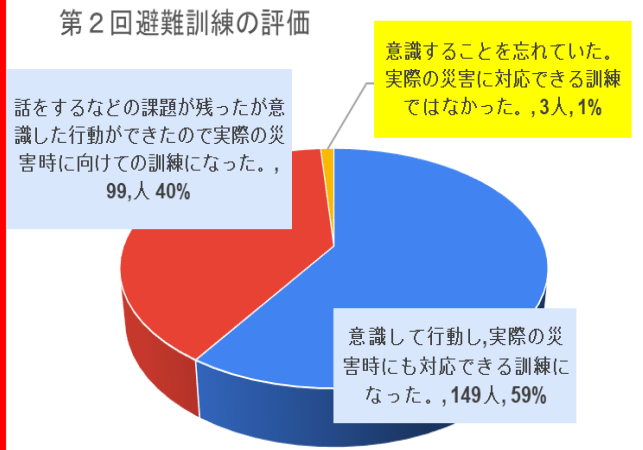
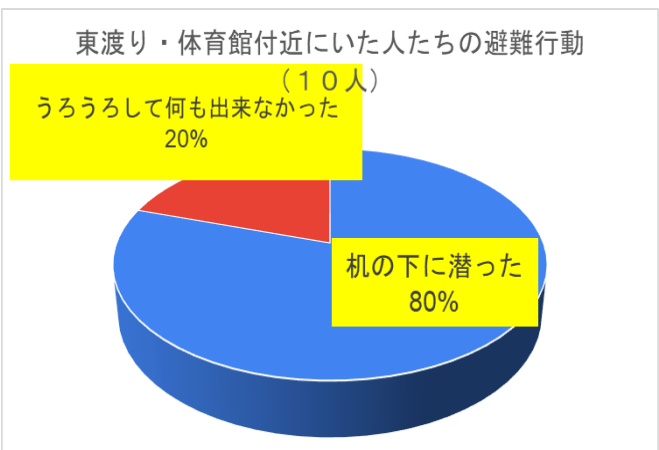
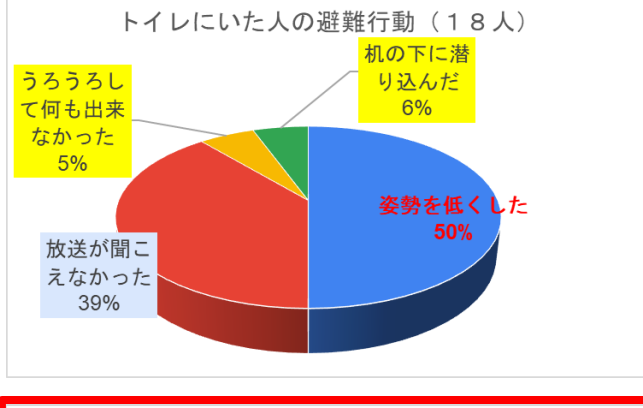
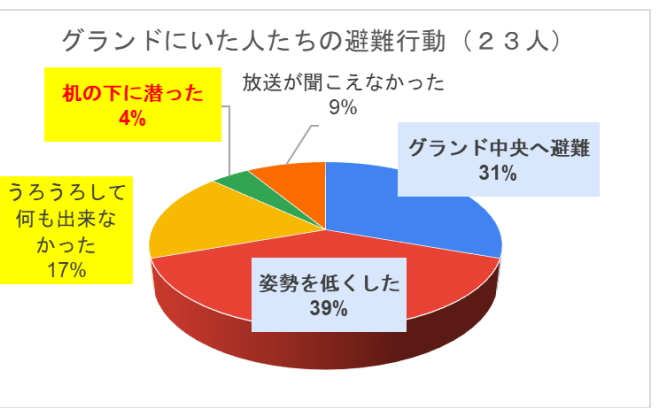
○第2次避難行動について今後の課題点

～本当にその行動で命を守れるの？～

ISS ニュースで2年代表が後半に伝えたように実際に地震が発生した場合の2次避難は、その場から次の揺れが来る前に素早く屋外に退避することが基本だと思います。

教室から整列して避難するほどの時間的余裕が地震発生の場合にあるでしょうか。一人一人が避難するよりもみんなで避難した方が不安は少なくなるかもしれませんが、整列の間に次の地震の揺れが始まってしまってしまうことも十分に考えられることです。

やはり、**災害発生時の自分自身の冷静な判断に基づいた避難行動が大事**になります。



○第2回避難訓練の振り返り結果に関して学校外の方からのコメント (アドバイス)

第2回避難訓練お疲れ様でした。みなさんはそれぞれ別の場所にいた際に避難訓練が始まったようですね。このように、**災害というのは当たり前**の日常にいきなりやってきます。油断ならない状況下で、自分が次にどんな行動をするのか見極めていかなくてはなりません。今回の調査結果で分かったことは大きく分けて2つあります。

1つめは、その場の適切な行動を理解できていないことです。机の下に隠れる理由や、窓の外から離れる理由、周りの状況を把握する等の行動がなぜ推奨されているのかをもっと自分なりに理解することが出来れば、その場その場で適切な行動が取りやすくなると思います。

2つめは、**災害を身近に感じる事が出来ていない**ことです。自ら置かれた状況は、たまたま訓練だったというだけで、本番ではお友達と楽しむ余裕などありません。次、避難する機会はずっとみなさんが忘れた頃にやってきます。それが本物なのか訓練かなのかは分かりません。いずれにせよ、**命を守れるのは日頃から訓練を本番のように行えた人**であることは確かです。

次回避難するときは、その場に助けてくれる先生はいないかもしれません。いつ起こってもおかしくない災害にいか「自分で」対応出来るか、日頃から意識してみてください。

※学校外の方からのアドバイスを生かしながら ISSPT は二中のより安全・安心の実現を目指して様々な取り組みを展開していきたいと考えています。